

株式会社 クリエイト SD ホールディングス



2020年5月期 決算説明会

2020年7月17日

本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性がございます。あらかじめ御承知おきくださいますようお願い申し上げます。
お問い合わせ先 経営企画部:阿部・田村(TEL 045-914-8241)

新型コロナウイルス感染拡大による影響

1. 需要動向
2. 営業・出店への影響
3. 従業員対応と地域病院支援

2020年5月期 実績

1. 損益計算書
2. 貸借対照表
3. 出退店状況
4. 新業態店舗
5. キャッシュレス決済
6. 業績ハイライト
7. 配当の推移

2021年5月期 計画

1. 新規出店・既存店改装
2. ウィズコロナ・アフターコロナの営業施策
3. 生産性向上
4. 専門性強化
5. 2021年5月期の計画(連結)

新型コロナウイルス感染拡大による影響

1. 需要動向

■ドラッグストア

	商品需要	立地
プラス要因	・感染予防関連商材 （マスク、除菌関連商品、ハンドソープ） ・食品等巣ごもり商材 ・風評等による突発需要 （紙製品、女性品など）	郊外型 住宅立地
マイナス要因	・制度化粧品、メイク用品 ・日焼け止めなど （外出自粛による）	都市型・駅前立地 SCテナント インバウンド需要

■調剤薬局

- ・急性疾患を中心とした外来受診控えにより処方箋応需枚数減少
一方で、処方の長期化などにより処方箋単価上昇
- ・電話による服薬指導（0410対応推進）

2. 営業・出店への影響

■店舗営業

- ・営業時間短縮

- ①4/8～ ほぼ全店で**20時閉店**(6/1～ 21時閉店)

- ②5/11～ 一部調剤薬局にて**営業時間短縮・休業日追加**…72店舗(7/1～ 通常)

- ・ショッピングセンター内店舗にて館全体の休館に伴う**休業**…2店舗

- ・3密回避のため各種**販促自粛**(特定日のポイント企画等)

- ・デイサービス、老人ホームは利用者減、面会減はあったものの
感染防止策を講じつつ営業継続

■出店影響

- ・新店オープン、改装の期ズレが発生…**出店期ズレ** 4店舗
(資材・陳列要員確保困難による)

- ・ドラッグストアの出店・改装の遅れが併設調剤薬局にも影響…**2店舗**

3. 従業員対応と地域病院支援

■従業員への対応

- ・店舗・薬局での感染拡大防止のため

①従業員へのマスク配布

②レジ・投薬カウンターでの感染防止策

飛沫ガード、直接金銭やカードの授受をしない運用、
レジ待ち間隔の確保、フェイスシールドや手袋の用意

③消毒剤の配荷、使用、設置

- ・慰労金・感謝金の支給



■地域医療機関への衛生関連物資支援

- ・地域中核病院等へ高機能マスク、フェイスシールド、防護服、
ガウン、手袋など感染防止のための衛生関連物資を寄贈

2020年5月期 実績

1. 2020年5月期のPL(連結)

	2019.5期 実績 (連結)		2020.5期 実績 (連結)			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売 上 高	286,299	100.0	319,588	100.0	111.6	103.9
売 上 総 利 益	78,953	27.6	88,986	27.8	112.7	104.6
販 売 管 理 費	64,711	22.6	71,192	22.3	110.0	101.6
営 業 利 益	14,241	5.0	17,793	5.6	124.9	118.9
経 常 利 益	14,623	5.1	18,210	5.7	124.5	119.0
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	9,719	3.4	12,254	3.8	126.1	119.3

2. 2020年5月期のBS(連結)

(単位:百万円)

	2019.5期末 (連結)	2020.5期末 (連結)	増減
資 産 合 計	133,315	153,423	+ 20,108
流動資産	75,763	87,162	+ 11,398
固定資産	57,551	66,261	+ 8,709
負 債 合 計	56,426	66,646	+ 10,220
流動負債	50,718	59,595	+ 8,877
固定負債	5,707	7,050	+ 1,343
純 資 産 合 計	76,889	86,776	+ 9,887
負債・純資産合計	133,315	153,423	+ 20,108

3. 出退店状況

■出退店等

- ・出店:ドラッグストア **28店舗**(計画 45店舗)/調剤薬局 **23店舗**(計画 30店舗)
- ・子会社化:百合ヶ丘産業の子会社化により食品スーパー **5店舗**

		神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	合計
出店	ドラッグストア	15	1	5	5	2	28
	調剤薬局	17	2	0	3	1	23
子会社化	スーパーマーケット	5	0	0	0	0	5

退店:ドラッグストア **2店舗**(契約満了 1店舗、経営効率化 1店舗) 調剤専門薬局 **1店舗**(経営効率化)

- ・改装:ドラッグストア **31店舗**

⇒MDおよび売場構成の見直し 24店舗、調剤併設および開局推進 7店舗
調剤薬局拡大 **5店舗**

3. 出退店状況

■ 期末店舗数

		神奈川	東京	静岡	千葉	埼玉	愛知	その他	合計
2020.5末 店舗数	ドラッグストア	351	100	88	44	15	16	11	625
	併設薬局	122	32	18	12	2	8	2	196
	併設率	34.8%	32.0%	20.5%	27.3%	13.3%	50.0%	18.2%	31.4%
	専門薬局	24	6	0	2	2	0	0	34
	スーパーマーケット	5	0	0	0	0	0	0	5
	総店舗数	380	106	88	46	17	16	11	664

・神奈川県を中心に調剤併設率向上

4. 新業態店舗

■Cremoの出店 2店舗 期末 8店舗

アクロスプラザ市原更級店(千葉)



浜松プラザフレスポ店(静岡)



■他業態との協業出店 2店舗 期末 5店舗

秦野大秦町店(神奈川): コンセッショナリー4社



我孫子天王台店(千葉): SMの生鮮・惣菜部門



5. キャッシュレス決済

■『おさいふHippo』の利用促進

- ・2019年8月末全店切り替え導入完了
- ・2019年11月から公式アプリでチャージ・支払い可能に

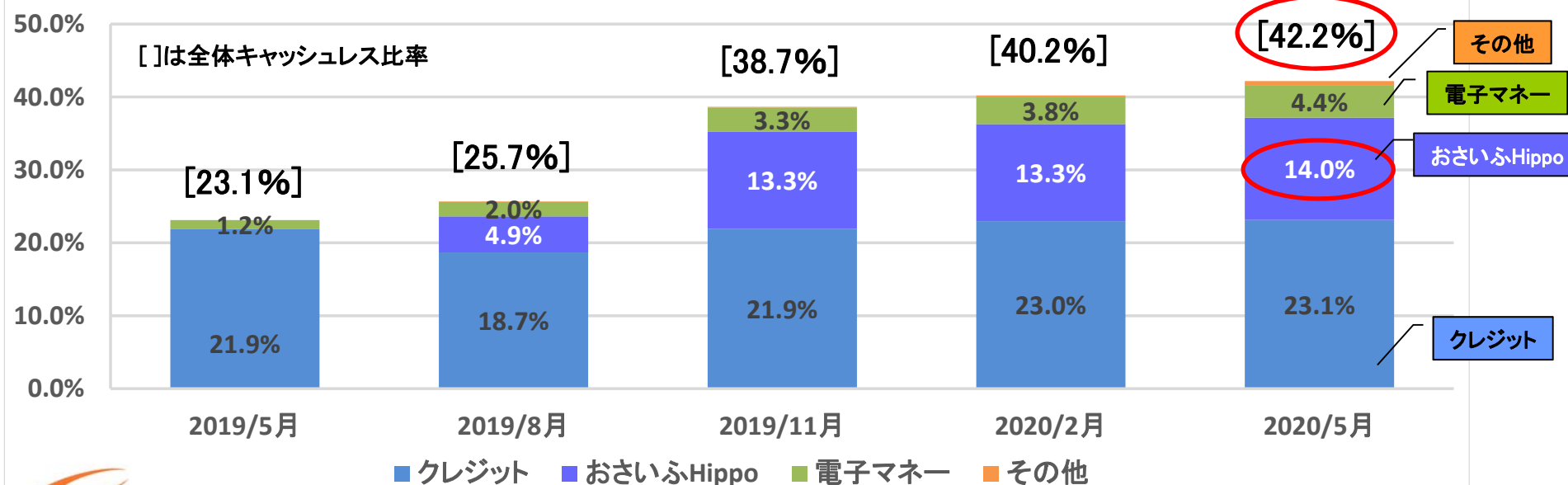


■QRコード決済

- ・2020年5月から全店利用可能に



＜キャッシュレス比率の推移＞

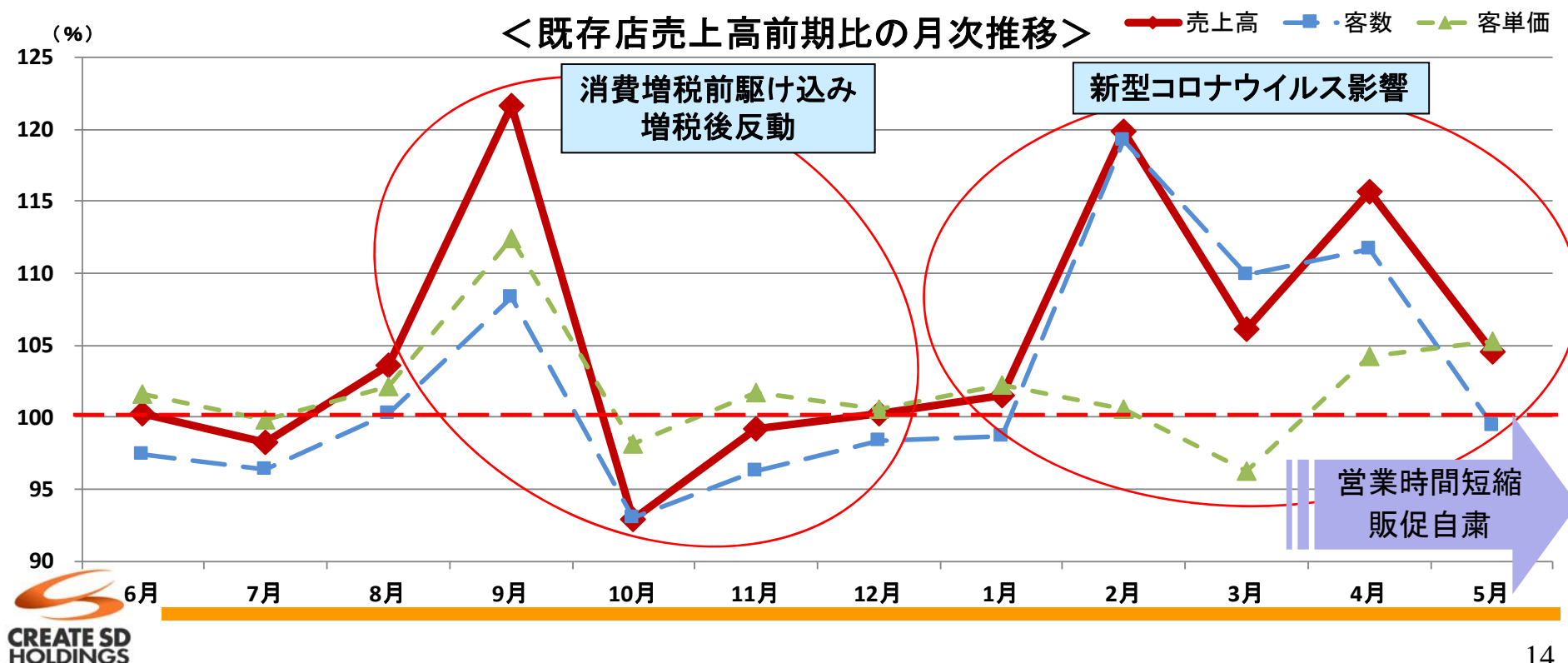


6. 業績ハイライト

売上高

■前期比 **111.2%** (計画比 103.5%) 既存店前期比 **105.1%**

- ・上期既存店前期比 102.4% 下期既存店前期比 107.7%
- ・調剤は薬価改定、感染症拡大による急性処方減があったが既存店2桁増を維持



6. 業績ハイライト

売上高

- ・セグメント別売上は専門性の調剤と、感染症関連カテゴリーにおいて増加
- ・調剤の売上構成比は +0.5pt の 9.2% に伸長

	2019.5期 実績		2020.5期 実績		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
医 薬 品	69,940	24.6	79,856	25.3	114.2
O T C	45,305	15.9	50,895	16.1	112.3
調 剤	24,635	8.7	28,961	9.2	117.6
化 粧 品	39,307	13.8	40,823	12.9	103.9
食 料 品	112,939	39.7	127,393	40.3	112.8
日用雑貨品	46,255	16.3	51,305	16.2	110.9
そ の 他	15,828	5.6	16,869	5.3	106.6
合 計	284,270	100.0	316,249	100.0	111.2

消毒・除菌剤
マスクなどの
感染予防商品

外出自粛に
伴う需要増

紙製品・女性品
などの突発需要

* “その他”の部門には 文具・ベビー用品・衣料品・ペット・園芸等が含まれます

6. 業績ハイライト

売上総利益率・販管費率

■売上総利益率 **28.0%** 前期差 **+0.2pt** 計画差 +0.2pt

- ・調剤売上構成比の伸長
- ・販促自粛に伴う荒利率改善
- ・感染予防商品の販売数増加による荒利率改善

■販管費率 **22.7%** 前期差 **▲0.4pt** 計画差 ▲0.6pt

人件費率 11.9% 前期差 ±0.0pt 計画差 ▲0.1pt

その他の経費率 10.8% 前期差 ▲0.3pt 計画差 ▲0.4pt

- ・増収による固定費負担の低減
- ・契約見直しによる電気代削減

6. 業績ハイライト

調剤部門

・2度の薬価改定、感染症拡大による処方減があったが2桁増収継続

全店売上前期比 **117.6%** 既存店売上前期比 **112.8%**

	2019.5期 通期 実績	2020.5期 上期 実績	前期比 前期差	2020.5期 下期 実績	前期比 前期差	2020.5期 通期 実績	前期比 前期差
全店売上 (百万円)	24,635	13,824	120.8	15,137	114.8	28,961	117.6
処方箋枚数 (千枚)	2,799	1,531	116.1	1,541	104.1	3,072	109.8
処方箋単価 (円)	8,668	8,891	104.1	9,670	110.1	9,282	107.1
全店荒利率 (%)	40.9	40.7	▲0.0	41.2	+0.2	41.0	+0.1
既存店売上 (百万円)	24,550	13,226	115.9	14,477	110.2	27,704	112.8
処方箋枚数 (千枚)	2,787	1,450	110.5	1,460	99.1	2,911	104.4
処方箋単価 (円)	8,673	8,983	105.1	9,767	111.2	9,376	108.1

6. 業績ハイライト

調剤部門

■在宅対応拡大

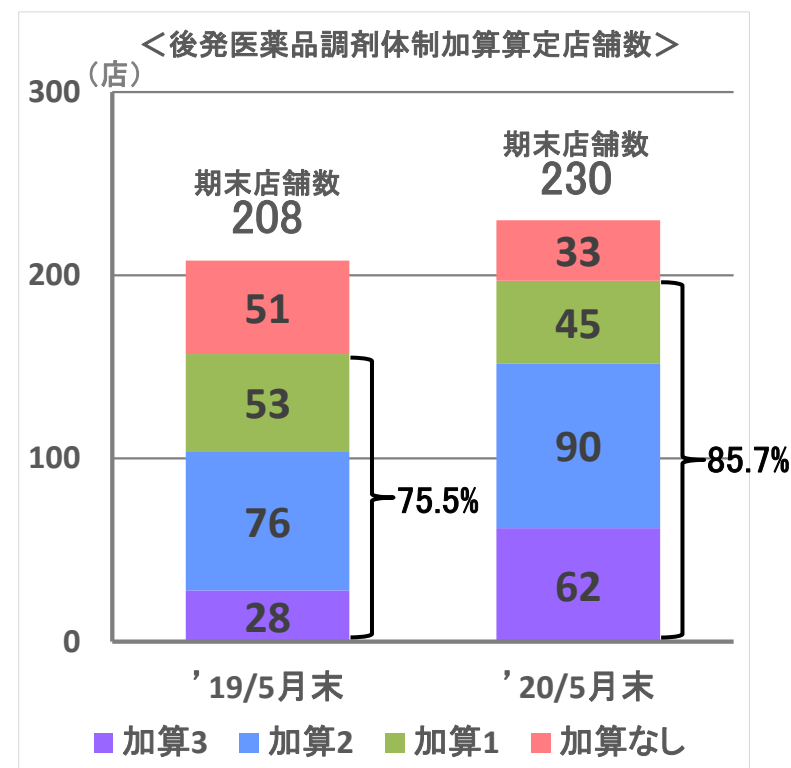
- ・在宅実施店舗は期末 **135店舗** (前期差 +13店舗)
- ・在宅応需患者数は **3,432人** (2020年5月実績、前期差 +79人)

■地域支援体制加算

- ・算定店舗は期末 **76店舗** (前期差 +5店舗)

■後発医薬品調剤体制加算

- ・算定店舗比率は期末 **85.7%** (前期差 +10.2pt)
- ・後発医薬品使用率は **80.7%** (前期差 +2.2pt)



6. 業績ハイライト

調剤部門

■「かかりつけ」への取り組み

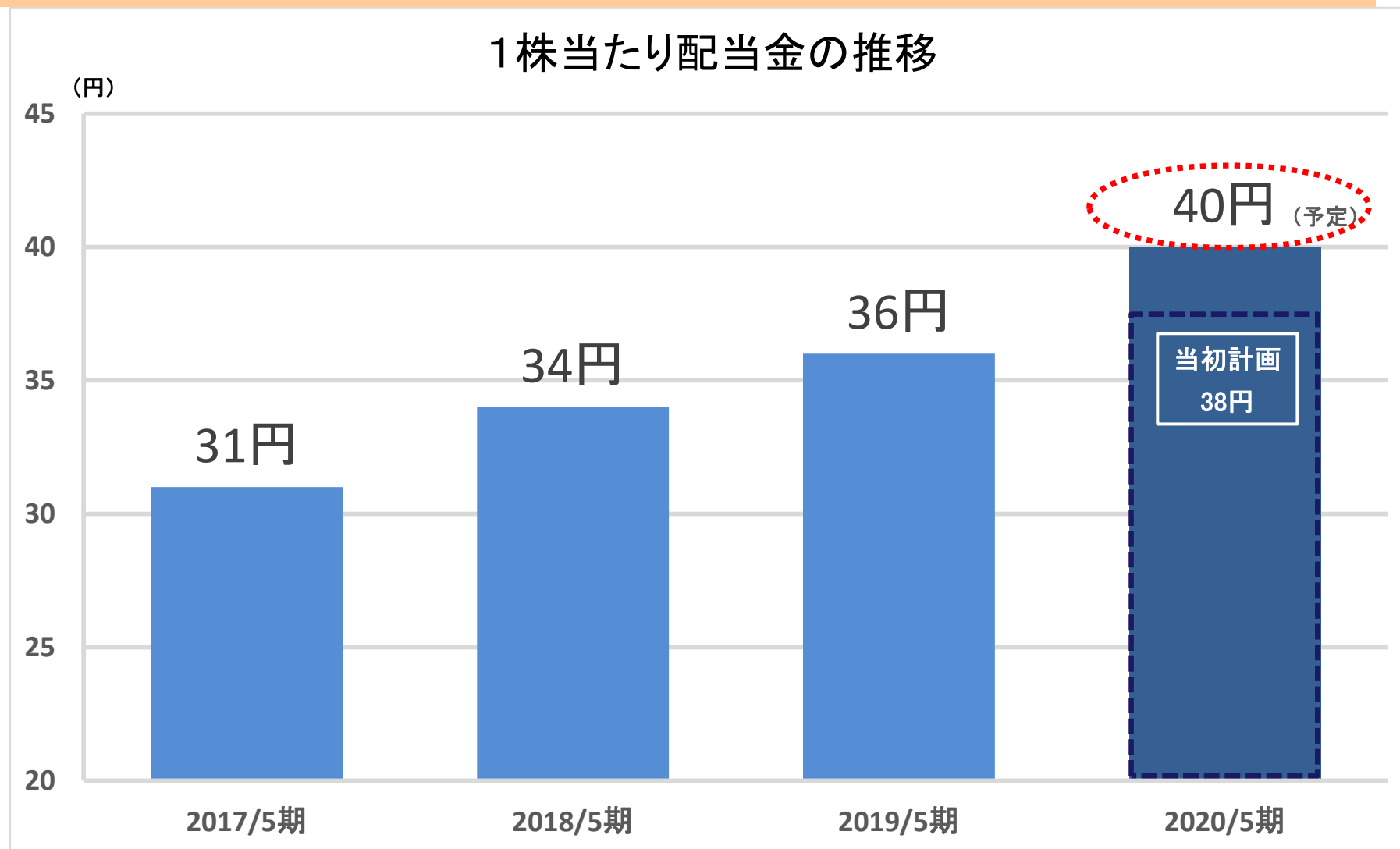
- ・対物から対人へシフト
- ・実績のある「かかりつけ薬剤師」は **90人**（前期差 +52人）

■オンライン化への取り組み

- ・処方箋送信機能付きお薬手帳アプリ
 - ⇒全薬局への導入および公式スマートフォンアプリとの連携
- ・千葉特区におけるオンライン服薬指導
 - ⇒特区内 4薬局にて登録（今後のオンライン需要拡大への準備）
- ・電話での服薬指導（0410対応推進）
 - ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、時限的・特例的な措置として認められた、電話等による服薬指導に対応



7. 配当の推移



・1株当たり配当金は継続増配 2020/5期は計画差 +2円、前期差 +4円の40円

2021年5月期 計画

1. 新規出店・既存店改装

■ドラッグストア 43店舗

- ・既存エリアでのドミナント深耕
- ・他業態との協業

■調剤薬局 35店舗

- ・併設率を早期に 50%へ
- ・地域での医療連携出店
- ・ドラッグストアの集客力を活かした出店

■改装 25店舗

- ・立地や地域のニーズに合わせた売場構成
- ・調剤薬局の併設
- ・増床改装に伴う他業態との協業
- ・スーパーマーケット「ゆりストア」の業態転換

2020.5末 店舗数	ドラッグストア	625
	併設薬局	196
	併設率	31.4%
	専門薬局	34
	総店舗	659
2021.5期 出店数 (計画)	ドラッグストア	43
	併設薬局	34
	専門薬局	1
	総店舗	44
2021.5末 店舗数 (計画)	ドラッグストア	665
	併設薬局	229
	併設率	34.4%
	専門薬局	35
	総店舗	700

*ドラッグストア退店予定 3店舗
併設薬局退店予定 1店舗

2. ウィズコロナ・アフターコロナの営業施策

変化

- ・低価格志向
- ・三密防止(販促内容)
- ・非接触(キャッシュレス)

■EDLPの強化とPB強化

- ・7月以降およそ 200品目値下げを実施
- ・特定日に集客する販促からEDLPへの変更による平準化
- ・安価PB商品の開発・投入

■デジタルシフトの推進

- ・「おさいふHippo」の利用促進による接触機会およびレジ待ち時間の低減
- ・公式スマホアプリの活用
 - ⇒1 to 1 マーケティングでの情報配信
- ・処方箋送信アプリの活用
 - ⇒処方箋事前送信による調剤待ち時間短縮

3. 生産性向上

■ドラッグストア

- ・AIを活用した需要予測の高度化によるアシスト発注精度向上
- ・セミセルフレジの導入店舗拡大

■調剤薬局

- ・調剤関連機器の投入
- ・メディカルアシスタントの活躍推進(0402通知に対応)
⇒対物業務を補助することにより薬剤師は服薬期間中のフォローなどより対人業務にシフト

■テレワークの部分的導入

- ・会議、研修のオンライン化
- ・採用のオンライン化(説明会・面接)

4. 専門性強化

■ヘルスケア・調剤推進

- ・調剤併設率 50%を早期に実現
- ・栄養士の活躍推進
⇒栄養士をヘルスケア担当者として育成

■地域医療連携薬局の拡大

- ・かかりつけ薬剤師の育成…かかりつけ薬剤師数 90人⇒120人
- ・在宅医療への対応拡大…実施店舗数 135店舗⇒142店舗
- ・地域支援体制加算の算定拡大…算定店舗数 76店舗⇒110店舗

■オンライン服薬指導への取り組み

- ・コロナ禍での暫定的な対応から、常態化を見据えて
システムとオペレーションを構築

5. 2021年5月期の計画(連結)

※新型コロナウイルスによる影響が漸減しつつも上期(2020年11月)まで残ると予測

	2020.5期 (連結実績)		2021.5期 (連結計画)		
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	319,588	100.0	333,700	100.0	104.4
売上総利益	88,986	27.8	92,160	27.6	103.6
販売管理費	71,192	22.3	75,640	22.7	106.2
営業利益	17,793	5.6	16,520	5.0	92.8
経常利益	18,210	5.7	16,930	5.1	93.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,254	3.8	11,290	3.4	92.1